

○「中核農業者の規模縮小に伴う話し合い」

(京都府宮津市 宮津地区連絡会議)(平成31年度第7回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年12月12日(月) 19:00~22:00
- 場 所: 宮津市滝馬集会所
- 出席者: 委員1人、推進委員1人、耕作者16人
市1人、事務局1人
※委員2人、委員以外18人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

2 地区の特徴、状況、課題

宮村;耕作面積14ha、緊急課題は1.4haの遊休農地の対応(山手は遊休農地拡大傾向、平場は家庭菜園希望者あり)
辻町;耕地3.5ha 機械所有者2名 / 滝馬;耕地8.5ha 乾燥機9台 / 皆原;中山間直払の取組 50a遊休の恐れ
山中;イノシシ被害大 まとめ役不在 / 波路;プラン作成済(新規就農) / 獅子崎・波路町;高齢化。波路が耕作

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 滝馬地区意見交換会: 中心的耕作者の経営面積縮小(80a)に伴うもの(滝馬地区;水田8ha)
 - ・中心的な受託者が体調不良で受託農地を返すことに
 - ・今後に対する参加者の意見: 機械の更新時には離農したい。 いつまで継続できるか不明
後継者がいない(全員)。 耕地条件が悪い(湿田、土羽水路)
 - 今後の取り組み 引き続き話し合いを継続
- ※機械所有者が12名(うち感想調整施設所有4名)あり、個人受託か組織化かについて早急に方向性を
見出すことが必要



4 活動結果

- 情報・意見交換 3 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援